

ウ) 付加的な演出

ストーリー展開に沿った資源の解説などを通して、「やまなし歴史の道」が発するメッセージを伝えることに加え、エンターテインメントとしての旅そのものの面白さや楽しさを演出することにより、参加したツアーでの体験がより印象深いものとなります。

今回のモニターツアーのようなテーマ性や学習要素が強い旅行であっても、「お食事」「お土産」はとても大きな楽しみであり、思い出づくりにもつながります。今一步踏み込んで、こうした楽しみの機会にもこだわってみてはいかがでしょうか。

<食事(昼食)>

■満足度を高めるポイント

❖ 韮崎では、宿場特有の息吹の象徴となる建物で昼食を取ることができた。昼食場所は3面がガラス窓になっており、近くの町並みを見下ろすと共に、ハケ岳、さらに富士山が遠望できた。とても良い雰囲気の中で、地元で人気のお弁当を食べることができた。A2

❖ 吉田のうどんが生まれた背景や固さの意味などを知った上で食べると、より深い体験となった。また、ちょうど良いタイミングでティータイムとなり、手作り感のあるスイーツも美味しかった。御師坊という歴史を感じる雰囲気の良い空間でゆっくりできて良かった。B

■気を付けるべきポイント

❖ 笹子三宿のツアーでは、好天のもと自然の中で、しかもシンボリックな巨大杉を眺めながら昼食(お弁当)をとった。景観・雰囲気とあいまってとても美味しく感じさせた。しかし、とても寒く、長時間の滞在はできず、後半はバスの中で昼食をとる参加者が複数名いた。A1

❖ 上野原宿では、地元の協力により雨天

時にも対応できるような昼食会場(公民館のような場所)を提供いただいた。地元の方にお茶を出していただき、暖かさを感じると共に、多くの方の協力によってできているツアーだということがわかり感激した。A3

❖ 上野原宿ツアーでは、地元の人気店のテイクアウト商品(おにぎり&だんご)を組み合わせ、このツアー用に作られたお弁当が好評で、行程中の解説にかかる時間が長いので簡単な弁当で昼食を済ませることができて良かった。



甲州街道：景色が好評だったアメリカヤ5F[Scape]



富士道：御師旅館内のカフェでくつろぎのひととき



甲州街道：地元菓子店のテイクアウト(赤飯、稲荷寿司、お団子)

たとの声があった。一方で、お弁当に山梨らしさがあると更に良かったとの意見もあった。また、お弁当でも良いのだが、温かいご飯を食べたいという意見もあった。A3

❖ 秩父往還では、酒蔵見学と共に酒造直営の飲食店で昼食を取ったが、参加者からは満足の声がかかれた一方、不要との意見も挙がった。単体としては魅力的な資源でも、ツアーの主題から逸れる場合や他の箇所の見学時間を圧迫する場合等はシンプルな内容に留めることも必要。C

<買い物(おみやげ)>

■満足度を高めるポイント

❖ ツアーのストーリーに関連する特産品をガイドが説明することによって買い物の楽しみが深まった。例えば、勝沼では終始ブドウ畑の近くを歩き、宮光園ではワインの歴史について解説があったため、昼食時にはぶどうジュースやワインを飲んだり、お土産として購入するなどに至った。A2

❖ SITであっても、食事と共に土産品の購入は旅における大きな楽しみの一つである。地元の特産品が手に入る場所に立ち寄ると、買い物を楽しむ様子が見られた。甲府市の煮貝や印伝のお店では解説を聞いた上で伝統的な食品を購入できた。A2

❖ 上野原宿のツアーの途中で参加者の興味をそそるお店(酒饅頭)があったので、行程には含まれていなかったがガイドが案内したところ、大好評だった。一方で、ツアー客が小さな店を占領したことによって店に迷惑をかけていると感じたが、地元からの来客は微笑んで受け入れてくれたので参加者は安心した。A3

❖ 機屋見学では実際に織機が動いている様子を五感で感じると共に、作り手のものづくりに対するこだわりを直接伺いすることができた。そのような素晴らしい思い・技術で織られた製品をその場で購入できたことは大変貴重な体験となった。B

❖ ツアーの中で、ガイドの案内で商店主の解説を聞くことを通じて、土産品の購入につながった。共通

■気を付けるべきポイント

❖ ツアー中は解説等で取り上げていなくても、参加者の知識レベルが高かったり、地域への訪問経験がある場合、参加者の個人的な関心に基づく土産品の購入意欲が高いこともある。旅行商品として販売するのであれば、最低限の土産購入機会は必要。共通



甲州街道：煮貝の歴史解説後の販売



富士道：機織見学後の即売会



みのぶ道：精進料理でもあるみのぶ饅頭を比べて食べる